



こんなことが出来ます!

ハルバッハ配列されたロータのモータ平均トルクを5~12%向上できます。

【従来の問題点】

円環状ハルバッハ配列のロータは、磁束を磁極に集中させて磁束を増大させているが、ロータ端部では磁束が減少している。

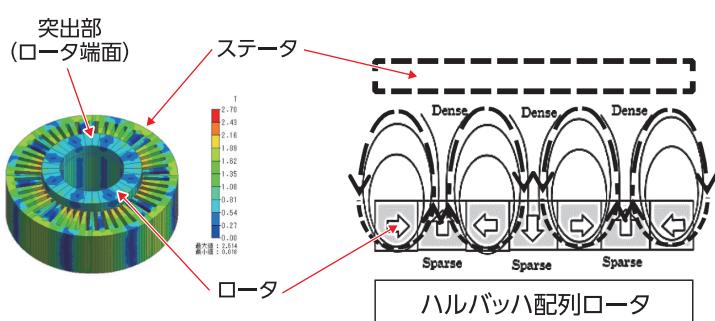
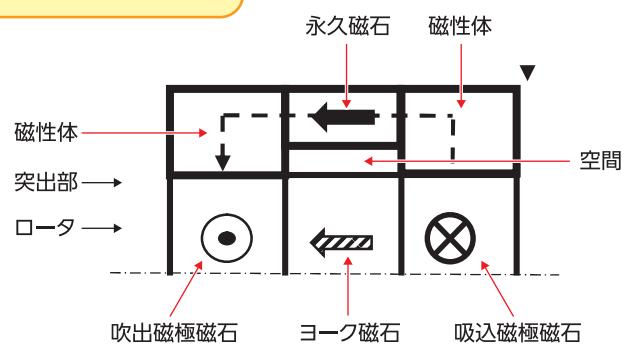
【解決したポイント】

ロータ端部に永久磁石及び磁性体を有する突出部を設け、突出部の永久磁石は、その集中磁束が吹出磁極磁石には対向し、吸込磁極磁石には逆対向させる。

技術の概要

- ハルバッハ配列は、ロータの磁界をステータとのギャップ方向に集中させる効果がある。
- 本技術では、ロータの端面に、永久磁石と磁性体による突出部を設ける。
- 突出部の永久磁石は、ヨーク磁石との間に空間を介し、その磁界はヨーク磁石の磁界と同じ方向に配置する。そのため、突出部の永久磁石の磁界により発生する集中磁束は、吹出磁極磁石には対向し、吸込磁極磁石には逆対向することになり、ロータ端部の磁界を補う。
- 空間は、モータの作動時にロータを冷却する効果がある。

図・写真



連絡先

- 1) 所 属／公益財団法人鳥取県産業振興機構
- 2) 担当者名／経営支援部 知的所有権センター 特許流通担当
- 3) 電話番号／0857-52-6722
- 4) E-mail／chizai@toriton.or.jp

発明者からのメッセージ

レース車用、航空機用、ドローン用のモータに適用できる技術です。

ライセンス情報

- 1) 開放特許情報DB番号／L2024000003
- 2) 特許番号／特許第7334448号
- 3) 公開番号／特開2020-174451
- 4) 出願番号／特願2019-074595
- 5) 出願日／2019.4.10
- 6) 発明の名称／「回転電気機械」
- 7) 特許権者／株式会社MARC研究所
- 8) 代表発明者／草瀬 新
- 9) 實施権許諾・譲渡種別

■ 許諾	□ 譲渡
------	------
- 10) 共同開発・研究の意思

■ 有	□ 無
-----	-----
- 11) サンプル提供の予定

□ 有	■ 無
-----	-----
- 12) 技術指導の意思

■ 有	□ 無
-----	-----
- 13) 実施実績

□ 有	□ 試作	□ 実験	■ 無
-----	------	------	-----
- 14) 事業化実績

□ 有	■ 無
-----	-----
- 15) 実施権許諾実績

□ 有	■ 無
-----	-----